

わたしの議会。



7月14日（火）相差町にてくじら祭りが開催されました。

鳥羽市議会各種SNS



とば市議会だより 目次

6月会議報告	2
常任委員会報告	2～3
議員別表決結果	3
政務活動費報告	4
納税等状況報告	4

一般質問	5～10
TOBAミラライトーク募集	10
鳥羽市議会サポーター感謝状贈呈式・ 意見交換会の実施	11
9月議会スケジュール	12

令和8年度鳥羽市一般会計補正予算(第2号)ほか、財産の取得についてなど、執行部提案議案11件、議員発議1件を審議しました。

常任委員会報告

● 各常任委員会に 10 議案が付託されました。

行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第9号 鳥羽市立地適正化計画の策定について

〈内容〉都市再生特別措置法第81条に基づき、持続可能で効率的な都市運営を実現するため、居住誘導区域および都市機能誘導区域の設定等を内容とする立地適正化計画を策定。



立地適正化計画とは

都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住や都市機能の誘導によりコンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた取組を推進しようとするものです。

その他の通告

きのしたじゅんいち
木下順一

動物死骸処理業務の実態と物価高騰等を踏まえた委託契約の適正化について

問 動物死骸の回収業務は、時間帯や休日対応、現場状況で負担が異なる。現在の小動物3千円、大型6千円の単価は、実態に見合っているのか。

答 環境課長 現行は一律料金だが、土日対応や作業困難な場所など様々なケースがある。いくつかの料金パターンを設けるのが本来の形と考えており、現行単価の妥当性も再度検討したい。

問 積算根拠に基づく予算要求をどう受け止めるのか。

答 財政課長 担当課が労務単価や市場価格を調査・把握し、積算していると認識している。物価高騰等があれば、手数料や業務委託も含め、担当課の調査等を受け予算要求の中で検討したい。

その他の通告とは



常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。その権限を活用し、議員は委員長に執行部に対して質問したい内容を事前に通告し、議案審査終了後に通告内容に沿って質疑応答を行う鳥羽市議会独自の取組です。



予算決算常任委員会

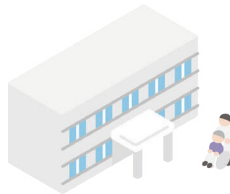
審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第2号 令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第3号）

へ主な補正予算の内容と質疑応答
老人福祉一般事業（志摩広域行政組合が運営する特別養護老人ホームともやま苑において、空調機器の入替を10月から11月に施行するための経費として、一般事務組合負担金を補正）
：372万3000円

問 今後、施設の老朽化が進み、それに伴い市の負担が大きくなる。事業の精査を行う時期に来ており、志摩広域行政組合に市の意見を述べていく必要があるのではないか。
答 今回は、ともやま苑のエアコンの件であるが、その他の施設も老朽化しているのは事実である。これまで広域で維

持してきた枠組みと、今後の鳥羽市としての負担感とのバランスが大事であり、話し合いをしていきたい。



人事

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意

三浦 元幸 氏

選挙管理委員会委員と同補充員を選出

委員

勢力 吉男 氏

坂倉 八重子 氏

濱口 晃吉 氏

杉原 まち子 氏

補充員

上田 功 氏

服部 佳彦 氏

濱口 香 氏

小久保 尚子 氏

令和8年6月4日～6月22日会議

議員別表決結果

○：賛成 ×：反対
－：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	倉田正義	五十嵐ひろ	世古雅人	山本欽久	瀬崎伸一	南川則之	濱口正久	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀
1	令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号）	6月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和8年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和8年度鳥羽市水道事業会計補正予算（第1号）	6月22日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	鳥羽市印鑑条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	鳥羽市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	財産の取得について	6月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	断水に伴う損害賠償の額を定めることについて		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	鳥羽市立地適正化計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	財産の取得について	6月22日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	議会報告会並びに意見交換会（TOBAミライトーク）への議員の派遣について	6月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告1	令和7年度鳥羽市一般会計繰越明許費繰越計算について		報告につき採決なし													
報告2	令和7年度鳥羽市水道事業会計予算繰越計算について		報告につき採決なし													

(単位：円)

令和7年度政務活動費収支報告

議席	議員氏名	交付決定額	支出合計	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	活動費 要請・陳情	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務費	返還額
1	くらたまさよし 倉田正義	156,000	156,000			156,000								0
2	いがらし 五十嵐ひろ	156,000	142,279		17,000	113,515					11,764			13,721
3	せこまさひと 世古雅人	156,000	40,000		40,000									116,000
4	やまもとよしひさ 山本欽久	156,000	156,000	91,490				64,510						0
5	せさきしんいち 瀬崎伸一	156,000	19,668										19,668	136,332
6	みながわのりゆき 南川則之	156,000	156,000			156,000								0
7	はまぐちまさひさ 濱口正久	156,000	156,000	92,060				63,940						0
8	かわむら たかし 河村 孝	156,000	156,000	76,858			17,088			8,000			54,054	0
9	とがみ けん 戸上 健	156,000	153,920			153,920								2,080
10	きのしたじゅんいち 木下順一	156,000	156,000		51,280	101,320					3,400			0
11	さかくらひろこ 坂倉広子	156,000	122,185	11,340				31,530			59,856		19,459	33,815
12	おざき みき 尾崎 幹	156,000	156,000	120,776				35,224						0
13	せこ やすひで 世古安秀	156,000	156,000			122,353							33,647	0

(単位：円)

納税等状況報告

鳥羽市議会議員政治倫理条例の規定により、前年1年間を通じて議員であった者の納税等状況を公表します。

議席	議員氏名	市・県民税	軽自動車税	固定資産税	都市計画税	国民健康保険税	医療保険料 後期高齢者	※1 介護保険料	水道料金	下水道料金
1	くらたまさよし 倉田正義	○	○	○	○	○	—	—	○	—
2	いがらし 五十嵐ひろ	—	—	—	—	○	—	—	—	—
3	せこまさひと 世古雅人	○	○	○	—	○	—	—	○	○
4	やまもとよしひさ 山本欽久	○	○	○	○	—	—	—	—	—
5	せさきしんいち 瀬崎伸一	○	○	—	—	○	—	—	—	—
6	みながわのりゆき 南川則之	○	○	○	—	○	—	○	○	—
7	はまぐちまさひさ 濱口正久	○	○	○	○	○	—	—	○	—
8	かわむら たかし 河村 孝	○	—	—	—	○	—	—	○	—
9	とがみ けん 戸上 健	○	○	—	—	○	○	○	—	—
10	きのしたじゅんいち 木下順一	○	○	○	—	—	—	○	○	—
11	さかくらひろこ 坂倉広子	○	—	—	—	—	—	—	—	—
12	おざき みき 尾崎 幹	○	—	○	○	○	—	—	—	—
13	せこ やすひで 世古安秀	○	○	○	—	○	—	○	○	—

《表示例》

- ：当該年度に納付すべき額が、納付済みの場合。
- ×：当該年度に納付すべき額が、未納付の場合。
- ：納付義務がない場合。

※1 介護保険料については、介護保険法第129条第2項の規定に該当する者が対象。

※2 納付義務がない事実上の納付分については、報告対象外。

令和8年5月25日現在

これが聞きたい・ここが聞きたい

一般質問



6月9日・6月10日に10人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。



※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

各議員の動画はこちらからご覧いただけます↑

日程	議員氏名	項目
6月9日(火)	みながわのりゆき 南川則之	菅島町における市道等のインフラ整備について／鳥羽市の離島における障がい者・高齢者支援について
	とがみ けん 戸上 健	市政にとって焦眉の諸課題を質す／戦争と平和について
	いがらし 五十嵐ちひろ	HPVワクチン接種の推進と非対象者への接種費用補助について
	おざき みき 尾崎 幹	市民の生命・権利・資産を守りぬくための『地籍調査』抜本的改革について
	せこ やすひで 世古安秀	鳥羽市のゼロカーボン施策の推進について
6月10日(水)	せこ まさひと 世古雅人	熊対策及び獣害駆除対策の現状と今後の対策について
	はまぐちまさひさ 濱口正久	第六次鳥羽市総合計画の実現に向けた、海の恵みを活かした「稼げる鳥羽」の地域経済戦略について
	やまもとよしひさ 山本欽久	鳥羽市の観光を支える水産業について
	くらた まさよし 倉田正義	第3次鳥羽市教育ビジョンの施行と鳥羽中央中学校の開校に伴う新たな鳥羽の教育の幕開けについて 鳥羽市公共施設等総合管理計画と廃校施設の現況について
	さかくらひろこ 坂倉広子	ひとり親家庭への切れ目のない支援とヤングケアラーへの支援について 鳥羽から世界へつながる英語教育の推進について

菅島町東谷地区の市道の冠水対策を

市長

計画的に行っていきます

問 令和4年9月、台風15号の豪雨により菅島町東谷地区で市道が冠水し、床下・床上浸水が発生しました。4年近く経過した中、冠水対策が実施されていませんが、即効性のある対策をどう考えていますか。

答 建設課長 道路側溝の流末は漁港内に排水しており、水路断面の検証を含めた調査が必要と考えます。即効性のある対策として、雨水を現状より早く排水できるよう、側溝蓋を集水できるグレーチング蓋に取り換える等の対応が考えられます。

問 菅島町東谷地区の市道の冠水対策を早急に実施すべきと考えますが、どうですか。

答 市長 かなり深刻な状況だと理解しました。緊急性のあるものについてはいち早く着手し、長いスパンでやるものは計画的に行っていきます。



令和4年9月の台風15号の豪雨により菅島町東谷地区の市道が冠水した状況

離島における通所サービス利用の問題解決は

市長

前に進んでいくように検討していきます

問 離島での高齢者通所サービス利用における島内介助・船内介助の問題解決は、素早い対応と決断が必要と考えますがどうですか。

答 市長 島内介助・船内介助については大きな問題になっていると思います。市の公的サービスと島民の温かい共助がかみ合って住みやすい離島の生活環境ができると思っていますので、前に進んでいくよう検討していきます。



みながわのりゆき
南川則之

原油危機の影響について 市長の所見は



とがみけん
戸上健

市長

何らかの対応は 行いたい

問 原油危機が鳥羽市の中小零細企業を直撃しています。どんな実態になっていますか。

答 観光商工課長 塗装関連工事の遅延、資材価格の上昇による事業コストの増加や価格転嫁による負担増が懸念されています。

健康福祉課長 介護用おむつが8月に値上げされる見通しで、これから品薄になるのではないかと考えられます。

農林水産課長 農林水産分野では、原油由来の物品の値上がりで経営を圧迫しており、事業の継続に深刻な影響が生じるものと強く危惧しています。

定期船課長 当初予算1億4000万円の燃料費予算が2億3000万円程度に膨らむと想定し、離島住民の生活航路でもある市営定期船の運航見合せという事態が起こる可能性があります。

ピースメッセンジャー派遣について 教育長の所見は

教育長

平和教育は大切である

問 ピースメッセンジャーの派遣について、教育長としての所見はいかがでしょう。

答 教育長 本市は、非核平和都市宣言を行っており、平和教育は大変大切であるというふうに考えております。



町内会が建立した「平和の礎」

HPVワクチンの 定期接種非対象者への補助を



いがらし
五十嵐ちひろ

市長

優先すべき課題は 接種率の更なる向上

問 子宮頸がん等の原因とされるヒトパピローマウイルスへの感染を予防するHPVワクチンの接種率はどうなっているでしょうか。

答 地域医療担当副参事 HPVワクチンの1回目を接種された方を接種意向があると判断しカウントいたしますと、令和3年度は接種者が22人で接種率は7.4%となります。令和4年度は20人、7.5%、令和5年度は17人、7.2%、令和6年度は35人、16.2%、令和7年度は12人、5.8%となっています。

問 17歳までに1回以上接種した人の割合の近似累積接種率を出してみますと35.49%程度となりました。定期接種の対象年齢を終了した女子への補助、また男性への接種費用の補助をするという考えはあるでしょうか。

答 市長 男性へのHPVワクチンの接種は国においても定期接種化に向

けた議論が進められておりますので、動向を注視していきたいと思っております。一方で優先すべき課題としましては、接種率のさらなる向上を重点的に取り組みたいと思っております。予防接種を正しく理解していただけるようしっかりと情報をお伝えし、不安のある方への丁寧な説明を行うことで、限られた接種期間を逃すことなく活用いただけるよう努めてまいります。

HPVワクチン定期接種の変遷	
時期	対応等
H25.4.1	● HPVワクチンの定期接種の開始
	NEWS 副反応についてのセンセーショナルな報道が相次ぐ
H25.6.14	● 積極的勧奨の一時差し控え
	積極的勧奨の差し控え期間 約9年 (H25.6.14～R3.11.12)
R3.11.12	● 差し控えの終了が妥当との判断
R4.4.1	● 個別勧奨の再開・3年間のキャッチアップ接種が開始
R7.4.1	● 経過措置1年間 (キャッチアップ期間中の1回以上接種者が対象)

旧鳥羽町の国調を 重要施策として位置づけを



市長

**地籍調査は
しっかりやるべきだと
考えている**

問 鳥羽市全体の地籍調査（国土調査）の進捗率は何％ですか。また、鳥羽市全体を終えるのは何年かかりますか。

答 建設課長 令和7年度末時点で36.64％となっております。現在のペースでいくと、200年以上かかると考えております。

問 なぜここまで都市計画区域内の地籍調査に消極的なのか、その理由を副市長に問います。

答 副市長 都市計画区域内が特段に消極的とは認識していません。今後、鳥羽駅前の鳥羽1丁目から5丁目とその周辺につきましても、地籍調査をしっかり進めていく必要があると考えております。

問 都市計画区域内の国調、具体的には立地適正化計画、旧鳥羽町の国調

を重要施策と位置づけることについて、市長の思いを聞かせてください。

答 市長 立地適正化計画の中にしっかりと決めてやっていきますが、これは短期のものではなく10年スパン、あるいは20年スパンで住民の方に周知していくものだと考えております。ただ、その指針となる地籍調査はしっかりやるべきだと考えており、特に住宅地についてはやっていきます。

意見 持続可能なまちをつくるためにも無駄なところを削っていくことが必要な決断です。変革のスイッチしっかりと押してください。



尾崎幹議員

ゼロカーボンシティ施策で鳥羽の 活性化をどう図っていくのか



市長

**環境問題を最前線に
持っていく、鳥羽市の
高付加価値化を
図りたい**

問 鳥羽市は、地球温暖化対策として2022年にゼロカーボンシティ宣言を発表し、取組を進めています。宣言の目的について伺います。

答 環境課長 2015年のパリ協定において「世界的な気温上昇を1.5℃未満に抑える」という目標が共有され、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことが目的となります。

問 ブルーカーボンクレジットの取組状況はどうなっていますか。

答 農林水産課長 海洋生物によって大気中のCO₂が取り込まれ、海藻などに吸収・貯留された二酸化炭素を数値化し、それをクレジットとして取引できる仕組みです。市内では鳥羽磯部漁協が中心となっており、この取組を進め、令和5年度から8年5月末までに21.6トン、総額

237万6000円の取引を市内21事業所に賛同していただきました。

問 ゼロカーボンシティ施策の推進によって、鳥羽の活性化をどう図っていきますか。

答 市長 エコツーリズムの推進、環境配慮型の宿泊、あるいは飲食の提供による高付加価値化、プラスチック削減や省エネ対策の徹底によるクリーンな観光地化など、リサイクルパークや奈佐の浜プロジェクトを前面に出しながら、環境問題を最前線に持つことによって、鳥羽市の高付加価値化を図りたいと思っています。



国崎鎧崎近海の藻場の磯焼けの様子。地球温暖化が要因の一つとされています。

社会問題となっている 熊出没にどのように備えるか



せ じ ま さ き
世古雅人

市長

平時からの備えを

しっかりと進めていきたい

問 熊の出没が社会問題となっています。市の熊出没リスクの認識と事前の備えの必要性をどのように考えていますか。

答 市長 都市部でも熊が出没している状況で、危機感を持っています。想定した対策を始めていく必要があります。関係機関等との連携体制の構築、対応マニュアルの整備、市民への情報提供など、平時からの備えをしっかりと進めていきたいと考えています。

問 市民の安全を確保するためには、捕獲・駆除体制が重要です。未知の対応を求められる中、ハンターの確保や対策に向けた課題はどうか。

答 農林水産課長 課題は、現場対応していただくハンターの確保です。熊の駆除はライフル銃等が必要ですが、資格者が少なく、近隣自治体や広域的な協力体制を構築する必要がありますと考えています。



世古雅人議員

問

鹿や猪などによる農作物被害や車との接触事故など市民生活への影響も出ており、獣害対策を望む声が多く寄せられています。しかし、捕獲従事者不足も深刻化しており、担い手を確保するために報酬額などの処遇改善が必要だと思いますが、いかがですか。

答 農林水産課長 本市の報酬単価は近隣自治体と比較して低い状況にあることから、近隣市町の水準も参考にしながら財政状況も踏まえ、見直しを進めていきたいと考えています。

漁観連携において、域内調達率を上げる必要がある



は ま く ち ま さ ひ
濱口正久

観光商工課長

今後も挑戦していくべき

課題である

問 海の恵みを活かした漁業と観光の連携において、経済波及効果を高めるために域内調達率を上げる必要があると思いますがいかがでしょうか。

答 観光商工課長 経済波及効果を高めるためには、「観光入込客数」「観光消費額」「域内調達率」の三つの視点が重要であると認識しています。域内調達率の向上は既存の流通の仕組みを変えるといった難しい分野ですが、地域内で経済を循環させるためには重要な視点であり、今後とも挑戦していくべき課題であると考えています。

問 観光政策を通じて離島振興、2次交通、デジタル化、多言語対応、雇用創出、市民所得向上など、人口減少時代においても持続可能な地域経済を実現することで、第六次総合計画に掲げる「誰もがキラめく鳥羽」につながるかと考えますが、いかがでしょうか。

鳥羽観光の目指すべき目標像

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり
～ The Blessed Sea ～

基本方針

「鳥羽うみ」の恵みをエリア、時間、分野を超えて
循環させることで、誰もが幸せになる

観光客がめぐる 関係人口がめぐる 食、生業がめぐる 経済がめぐる
従事者がめぐる 市民がめぐる 環境がめぐる

第3次観光基本計画の計画期間

2026(令和8)年度～2035(令和17)年度【10年間】

第3期観光アクションプログラム

答 観光商工課長 本市において観光は、地域経営そのものであり、人口減少が進む中では、観光客数だけを追うのではなく、観光の質を高め、消費額を向上させることが重要です。消費を地域内で循環させるため、鳥羽ざかなの活用や、市内中小企業の振興などを進めていく取組が地域資源の維持、雇用や市民所得の向上、さらには公共交通の維持にもつながっていくと考えます。

水産業の継続について、市長の考えは

市長

来るべき時代に備えていきたい

問 鳥羽市の水産業の元気がなくなると、関連する産業にどう影響しますか。

答 農林水産課長 加工、流通、販売の他、市内のホテル、旅館等の食材の提供に関わってきます。また、雇用が失われれば人口の定着にも影響を及ぼします。

問 離島における水産業の重要性をどう認識していますか。

答 農林水産課長 離島地区の漁獲データでは、生産額、生産量共に市内全体の約7割を占めています。養殖も含め、多種多様な水産業は重要な産業と認識しています。

問 水産振興の取組について聞きます。
答 農林水産課長 鳥羽磯部漁協と連携し、ブランド化や水産加工施設の整備等、国や県の支援も受けながら様々な角度から事業を実施しています。



やまもと よしひさ
山本 欽久

問 漁業環境の現状とその対策について聞きます。

答 農林水産課長 近年の海洋環境の変化は依然として厳しい状況です。本市としては、個別の問題に丁寧に対応し、今後も漁業者や漁協の皆様と十分に協議を重ねながら、実行していきたいと考えています。

問 今後の水産業の継続について、市長の考えを聞きます。

答 市長 1次産業、特に水産業は鳥羽にとって非常に大事な産業です。で、柔軟に、多面的な方向性をもつて議論し、若手の育成にも力を入れ、来るべき時代に備えていきたいと考えています。



山本 欽久 議員

第3次鳥羽市教育ビジョン施行にあたっての覚悟は

教育長

教育環境の変化に迅速かつ柔軟に対応する

問 鳥羽中央中学校の広域な校区においては、小学校5校と地域との横の連携、小・中学校の縦の連続が重要です。菊川市のように中学校区に一つの学校運営協議会を設置するなど、新たな組織体系を築く必要はないですか。

答 学校教育課長 現時点で規則改正等は予定していません。来年度の学校運営協議会設置後の課題を踏まえながら、本市に適した小中連携、校区全体を見据えた学校運営協議会の在り方を研究していきたいと考えています。

問 第3次教育ビジョンの施行、益々膨らむ鳥羽の教育課題にどのような覚悟で臨みますか。

答 教育長 大きく3点の覚悟を持って臨みます。その1つは、教育環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、未来への責任を果たすことです。時代の変化に応じた変化を恐れてはい

けないと考えています。

鳥羽市公共施設等総合管理計画の更新は

令和9年3月の更新完了を目指す

問 鳥羽市公共施設等総合管理計画の更新については、廃校施設の利活用を含め、大変注目しています。現在の進捗状況や今後のスケジュールはどのようなになっていますか。

答 財政課長 今年度を更新年度と位置づけ、現在自庁で作業を進めています。令和9年3月の更新完了を目指しています。



地域スポーツクラブ関係者によるグラウンド整備
(旧加茂中学校にて)



くらた まさよし
倉田 正義

今後の英語教育について 教育長の所見は



さかくらひろこ
坂倉広子

教育長

鳥羽市の教育の 特色ある取組の一つ としてしっかりと 進めていきたい

問 英語は、世界の人々とつながるための重要なツールです。英語を習得することは、将来の進路やキャリアの選択肢を広げるだけではなく、異文化理解やコミュニケーション能力の向上にもつながります。このような観点から本市においても英語教育のさらなる充実が必要であると考えます。そこで、第3次鳥羽市教育ビジョン及び本年4月に改訂された鳥羽市英語教育推進計画を踏まえ、小学校から中学校への滑らかな架け橋（スムーズな接続）の創出について伺います。

答 本市における今後の英語教育について、教育長のご所見を伺います。
教育長 鳥羽ならではの英語教育を鳥羽市の教育の特色ある取組の一つとして、しっかりと進めていきたいと考えております。

小学1、2年生段階から系統的に英語教育を推進するとともに、小学校から中学校までの9年間を見通した一貫性のある指導が可能となり、小中学校間の円滑な接続につながるよう取り組んでおります。

鳥羽市英語教育推進計画

令和8年4月改訂
鳥羽市教育委員会

T O B A ミ ラ イ トーク 募 集 中 !

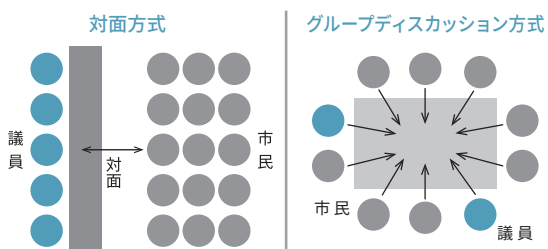
あなたのまちへ議員を派遣します。お気軽にお申し込みください!

▶ 派遣までの流れ

① 話したいテーマを一覧表から選択し、議会事務局へ申し込んでください。

② 議会事務局で受け付けし、広報広聴委員会で派遣する議員数を調整します。

③ 当日、担当議員が出向いて、意見交換を行います。なお、希望する対話方式について、「対面方式」または「グループディスカッション方式」のどちらかをお選びください。



▶ 実施期間

令和8年6月1日(月)～令和9年3月31日(水)
(土、日、祝日、夜間の開催も可。)

▶ 対象

市内在住、在勤、在学の5人以上のグループが市内で実施する集会へ議員を派遣します。

▶ テーマ一覧

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ① 移住定住 | ⑤ 環境、まちづくり |
| ② 子育て支援、教育 | ⑥ 防災 |
| ③ 産業振興、雇用 | ⑦ その他(①～⑥以外のテーマで話したいこと) |
| ④ 高齢者、障がい者福祉 | |

▶ 申込方法

申込用紙(市議会ホームページからダウンロード可)により、原則、実施希望日の3週間前までに電子メール、ファクス、郵送、持参で申し込んでください。



鳥羽市議会サポーター 感謝状贈呈式・意見交換会を 実施しました

令和8年6月26日（金）に令和7年度鳥羽市議会サポーターとしてご活躍いただいた方々へ感謝状の贈呈を行った後、議員と「今後の市議会サポーター制度の活動について」をテーマに意見交換会を実施しました。



令和7年度は13名の鳥羽市議会サポーターに本会議・委員会の傍聴や意見交換会等にご参加いただき、1年間で約50件の議会運営等に関するご意見をいただきました。

鳥羽市議会サポーター制度開始の初年度ということもあり、運営について至らない点も多くありましたが、令和8年度はこの1年間の活動内容を十分に生かし、鳥羽市議会サポーター制度をさらにパワーアップさせたいと考えております。



～ 1年間ありがとうございました～

鳥羽市議会サポーターから寄せられた意見をもとに改善・実施した事項

- 議会だよりに次回議会開催スケジュールを掲載
- 一般質問通告者一覧表の表紙に順番を記載
- 本会議場傍聴席へ席次表を複数個所に掲示
- 広報広聴委員会委員が議会SNSの更新を担当



令和8年9月議会のご案内

8/23	24	25	26 本会議 (議案上程)	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4 本会議 (議案質疑)	5
6	7 行政常任 委員会	8	9	10	11	12
13	14 予算決算 常任委員会	15	16	17	18 本会議 (表決)	19

※会議日程は変更する場合があります。開催時刻等、詳細は市議会カレンダー（右記QRコード）よりご確認ください。

なお、一般質問の日程は質問者の人数により次のとおり変動します。

- 質問者が5人以下の場合→1日間(9月1日のみ)
- 質問者が6人以上～10人以下の場合→2日間(9月1日・2日)
- 質問者が11人以上の場合→3日間(9月1日・2日・3日)



傍聴してみませんか？

本会議や委員会は原則公開されており、傍聴が可能となっています。ぜひ実際の議会中の空気を感じてみてください。

編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより)第196号をお届けします。

鳥羽市議会サポーター制度がスタートして1年が経ちました。サポーターの皆さんからいただく率直な意見や声は、私たち議員にとって新たな気づきとなり、議会をより良くしていくための大切な力となっています。多くの方に議会を知っていただくだけでなく、関心を持ち、さまざまな形で関わっていただきながら、鳥羽の未来を考え、より良いまちづくりを進めていければと思いますので、これからもこの制度への参加とご理解をお願いします。

記 せこまさひと
世古雅人

広報広聴委員会

委員長

やまもとよしひさ
山本欽久

副委員長

はまぐちまさひさ
濱口正久

委員

くらたまさよし
倉田正義

委員

いがらし
五十嵐ちひろ

委員

せこまさひと
世古雅人

委員

みなみがわのりゆき
南川則之

委員

かわむら たかし
河村 孝